

いものではない。第一自動車の疾走によりて生ずる砂塵は、しばし紅塵萬丈の状を呈し、其不快は譬へ難いのみならず、沿道の人家などは、實に見じめなものである。

そこで自分は専門家に對して一つの懇願がある。それは我國情に適した舗装材料の選擇と、舗装方法の簡易化とである。多少なりとも、これで進歩すればするほど、其國家に益する處は大なりと言ふべきである。勿論、現今に於ては、其方法も少なからず進歩して居る、又た所謂地方道路にして、其實施されつつあるものもないではない。併し此點に關しては、猶ほ望蜀の切なるものがある。自分は今日の現狀に鑑み、或程度の道路以上には、必ず適當

の舗装をなすべく、相當の方針を定められむことを熱心に提議するものであ

政治界に異狀なし？

白洋漁夫

非常時内閣も人事行政や新政策の種盡きや赤字財政の悲觀や増税問題の停顿等の問題で其命數も盡き果てるではなからうか例令其處に陸軍首腦者達の掩護があるにもせよ餘程の轉換方法が見出されない限り所詮人力の及ばざる運命を辿るべく餘儀なくせらるゝであらうとは吾れ人の懸念する所であるが事容易にあらずと思ふてか中々妙策も賢謀も出ない有様であつた。が無

が時機未だ到來せず閣から閣へ葬られた、そこで内閣の運命もいよゝゝ時の問題となつて瀕死の状態を呈したと見られカンフル注射も葡萄酒もジンゲル液も食鹽水も起死回生に効はあるまいと思はれた。過日首相は鈴木政友會總裁と會見し國策確立の相談をした、何れ鈴木政友會總裁は黨の幹部の文珠智識に依つて具體案を作成して。之を首相に提示し協調を求むることとなるであらう。然るに一面准與黨を以て任ずる民政黨では首相が若し政友會と相計

る。(昭和八年八月十日稿)

つて政策を講し其成案に對して民政黨の意見を求めらるゝが如き態度に出づれば民政黨は白紙主義に歸つて必しも快諾するものでないと傳へられまたしても行詰りとなつたかと杞憂されたが

存外に事は非常時局の低氣壓は政黨を重壓して政友會案を參考とした政府案ならば同意を惜まないとの意嚮を洩らすに至つたと灰聞す。實に之れあるかなたゞ國民未だ既成政黨に對して信用を回復しないから此の場合意地張つた政黨は非運の地位に立たねばならぬ若槻民政黨總裁の苦勞人が其處に氣付かざる譯がない。國策確立と云ふ政界の

前奏曲は如何になり行くか政治界は之れに依りて異狀なきを得るか否や。

首相は鈴木政友會總裁との協調的態度を執つた上に若槻民政黨總裁とも會見し誠意を披瀝して之れ亦協調の途に出てんことを求められたが固より准與黨を以て任ずる同黨の事なれば、一面政黨力挽回策を強調せねばならぬことは政友會と同一である關係から異存あるべき筋合でない。首相は更らに百尺竿頭一步を進めて安達國同首領とも會見したとの事である、サモあるべき筈である。眞の舉國一致は假令少數の代議士を有するに止まるとは言へ國同も一つの政派である以上之を度外視する譯には行かないのである。然るに安達國同首領は既成二大政黨の僞公黨なるを唱へ此二黨と共に國政を料理し行くは歩むべき道でない」と唱へて國同を樹

立したる因縁があるから之等との協調は至難事であると見なければならぬ、夫れに八聖殿裡に於て考究する秘策は中々に之を輕視することは許されない。民衆を大向に置いて其喝采を博する方法も暗々裡に軍部と握手するの妙策も日本主義を主張する平沼博士一派との脈絡策も案外に巧妙を極めて居ると傳へられて居るのが國同である、少數なりとも侮るへからざる一勢力である。而かも此國同すらも克くリードして所謂舉國一致の特超強力内閣が出現し得らるゝであらうか。政友會の看板板五大國策の如きは看板である眞個の精神的協力は相互關係者の胸中に藏せらるゝ意圖になる。庶幾は國民を忘却せざる政治に更生する點に於ての協調であらんことを。(八月二十八日)

曲目は發表せられた名人三曲樂は近日演奏せらるるであらう、齋藤首相の彈琴の調子か鈴木政友の尺八をリードするか若槻民政の三味線と鈴木政友の尺八はよく其調子を合せ得るか政界劇の